普及活動情勢報告（令和７年８月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

宿毛のオクラはどうでしょう？　　～県内オクラ品目別現地検討会～

７月 16 日、宿毛市のオクラ栽培ほ場で、品目別現地検討会が開催され、県内のオクラ生産者 10 名、関係機関 39 名が参加しました。検討会では、販売状況や栽培方法などに関する意見交換が行われました。

農業改良普及課からは、実証ほでの環境測定装置から得られたデータについて報告しました。

参加者からは、「センサーを設置している場所はどこか？」、「今後もデータ収集・分析を継続してほしい」との意見がありました。

今後も環境測定装置を設置している生産者と協力し、データの収集継続と活用方法を検討していきます。

令和７園芸年度の栽培を振り返り　～よさこいミディトマト研究会が反省会を開催～

７月 24 日、ＪＡ中村集出荷場で、よさこいミディトマト研究会の反省会が開催され、生産者７名、関係機関３名が参加しました。会議では、ＪＡから令和７園芸年度の販売状況の報告と研究会の役員改選が行われました。

農業改良普及課からは、生育調査の結果やハウス内環境データに基づく栽培の振り返りと次作への取組について説明しました。

参加者からは、「葉かび病の対策の方法は？」といった質問や「次作は、温度管理に取り組んでみたい」などの意見がありました。

今後もミディトマトの収量・品質向上に向けて、支援していきます。

地域全体で就農希望者の確保　～幡多地域新規就農者支援ネットワーク協議会～

７月 25 日、中村合同庁舎３階会議室で、幡多地域新規就農者支援ネットワーク協議会を開催し、幡多地域の６市町村の担当者、ＪＡ、県関係者の計 20 名が参加しました。

農業改良普及課からは、各市町村の就農希望者確保に向けたＰＲ方法の共有や強化に向けた提案を行いました。

参加者からは、「６市町村共通のＳＮＳアカウントを作成し、毎日情報を出せないか？」、「県外の就農相談ブースの写真を集め、効果的な見せ方を協議したい」など、就農促進方法の強化に向けた具体的な意見が出ました。

今後も就農希望者の確保に向けた取組を支援していきます。

集落の農地を守るため話し合いをしよう　～地域計画の見直しに向けた座談会～

７月 29 日、宿毛市福良地区の集会所で、地域計画の見直しに向けた座談会が開催され、生産者と関係機関の計 15 名が参加しました。

農業改良普及課からは、土地持ち非農家を含めた集落内での話合いや用水管理の新たな仕組み作りについて情報提供しました。

生産者からは、用水確保や果樹栽培に向けた農道の再整備など、現場が抱える厳しい課題の話が出されました。

今後も関係機関と連携して話合いを開催し、地域計画の見直しに向けて支援していきます。

今年の作は期待できるね！　　～直七栽培組合現地巡回指導～

７月 31 日、宿毛市の直七栽培組合の生産者３名、関係機関３名が参加し、ほ場を巡回しながら栽培状況や病害虫の発生状況について意見交換をしました。

農業改良普及課からは、病害虫の発生状況に応じた防除方法や剪定方法について指導しました。

生産者からは、「今年はハダニが多い。今後の対策は何か？」といった質問や、「果実がよく付いてる。昨年より収穫量は増えそうだ。」との声がありました。

今後も直七の生産量拡大を目指し、引き続き巡回指導を行います。

遮熱資材にはどんなものがある？　　～幡多地区環境制御技術研修会～

８月６日、ＪＡ高知県幡多地区事業本部２階会議室で、幡多地区環境制御技術研修会を開催し、生産者と関係機関の計 19 名が参加しました。

農業改良普及課からは、幡多地区のＳＡＷＡＣＨＩをはじめとするデータ駆動型農業の実施状況を報告しました。

参加者からは、熱線吸収型の遮熱資材からの熱の放出や遮熱資材の効果などについて活発な質問がありました。

今後もデータ駆動型農業を通じた農業生産振興に役立つ情報提供を行っていきます。